

【科目名】 チーム医療学Ⅱ		【担当教員】 小野 敏子
【授業区分】 専門基礎分野 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0430-0-2	(メールアドレス) t.ono@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 3年次・前期	【選択必修】 選択	(オフィスアワー)
【単位数】 1単位	【コマ数】 8コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識)		
【講義概要】 (目的) 対象者へのリハビリテーション・サービスを効果的に進めていくためには、医療専門職間の連携の重要性はもちろんであるが、さらに広く保健医療・福祉領域の関連専門職との連携が不可欠である。 この科目では、「チーム医療学Ⅰ」で学んだ内容をさらに発展させ、実際の事例を通して専門職間の連携の重要性について理解を深め、今後の臨床活動とのつながりを具体的にイメージできるようになることを目的とする。 (方法) 実際の現場でリハビリテーション専門職がどのように働き、どのように連携を取るのか、できるだけ具体的な事例を挙げながら講義する。模擬症例(仮想事例)を通して、専攻職業の役割と有効な専門職間連携についての考察を進めるので、学生同士の討論、発表を重視する。		
【一般教育目標(GIO)】 リハビリテーションサービスを効果的に進めるために、関連する保健・医療・福祉領域の専門職がどのように連携を取ればよいのかを理解する。		
【行動目標(SBO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ コマごとの課題に対して、班員と積極的に意見交換できる。 ・ コマごとの課題に対して、積極的に文献検索し、討論や発表に活用することができる。 ・ 講義、討論、文献検索などの一連の作業で得られた内容に自分の考えも添えて、レポートとしてまとめることができる。 ・ 病期や症状における専攻職業の役割の概要と、多職種との連携の概要を述べることができる。 		
【教科書・リザーブドブック】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に定めない。必要に応じて資料を配付する。 		
【参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて紹介、または関連資料を配付する。 		

平成 26～28 年度入学者用

【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
・成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50		30				20	100点
評価指標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1	急性期・回復期におけるチーム医療を考える (1)	事例に対する討論、文献検索							
2	急性期・回復期におけるチーム医療を考える (2)	討論内容の発表							
3	高次脳機能障害の改善に向けたチーム医療を考える	事例に対する討論、文献検索							
4	摂食嚥下障害の改善に向けたチーム医療を考える	事例に対する討論、文献検索							
5	終末期を生きる方々に対する専門職の役割を考える：現場から								
6	高齢期の方々に対するチーム医療を考える (認知症を中心に)	事例に対する討論、文献検索							
7	災害時における医療専門職の役割を考える：現場から								
8	まとめ	発表							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。